

SAKUらいぶ72号



図書館だより

平成29年1月号

作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 図書館

[内容]

- ・国家愛と人類愛
- ・あなたのページ
- ・SAKUらセレクト
- ・らいぶ Question
- ・開館カレンダー

国家愛と人類愛

作新学院大学人間文化学部長 渡邊 弘

近年、持続可能な社会の構築に向けて世界市民や地球市民を謳う国際主義やグローバル化が叫ばれている一方で、トランプアメリカ大統領の米国第一主義やイギリスのEU離脱などに代表されるように、内向きの閉鎖的なナショナリズムが台頭してきている。これを倫理的な価値の視点から見た場合、前者は国際理解に基づく人類愛という価値に、後者は国家愛という価値にそれぞれ基づいていることがわかる。そもそもこれら2つの価値の関係を私たちはどう考えるべきなのか。たとえば、学校教育の道德教育などでは、先生方がこれら2つの価値について教材を通して個別に考えさせるわけであるが、それらの関連性についてはあまり考えさせることはないように思う。

人間であれば自分が生まれ育った国に対して一定の愛情をもつことはごく自然な感情であろう。だが、その先にある人類愛という、より広い価値を認識していなければ、おそらく偏狭で利己的な自国愛でしかない。それを回避するためには、私たち人間一人一人が、国家愛と人類愛のバランスをとりもつ「寛容」と「尊重」という価値（精神）を、今こそ真剣に考えていかなければならないのではないだろうか。トランプは、いろいろなカードがあるからトランプとして楽しめるのである。



あなたのページ

…学部生からの投稿です…



「ひぐらしのなく頃に」を読んで

経営学部 2年 細井翔太

「ひぐらしのなく頃に」は、ある村で発生した連続怪死失踪事件「オヤシロ様の祟り」を発端に起こる悲劇を描いた作品です。物語の構成上、過激な表現が多く見受けられます。内容の過激さ故に敬遠する人も多いことでしょう。しかし、それは物語において起こっている祟りや悲劇を表現する手段であり、本質ではないと私は考えています。主人公たちは悲劇を防ごうと行動を起こしますが、運命に決定づけられているのか、村には何度も惨劇が降りかかります。それでも彼らは、仲間との絆、諦めない心を武器に最後まで運命に抗い続け、大きな壁を一つ一つ乗り越えていきます。

このように「ひぐらしのなく頃に」の本質は、仲間との絆や諦めない心だと私は作品を通じて感じています。いかにそれらが大切であるかが再確認できる一冊なので読んでみることをお勧めします。

「ひぐらしのなく頃に」 竜騎士07 著 講談社 BOX

SAKU らいぶでは、学生のみなさんからの投稿を募集しています。

本を読んだ感想、学生生活で頑張っていること、日ごろ考えていることなどを400字程度でお書きください。掲載された方には図書館より記念品を贈呈いたします。



SAKUらせれく



図書館にある珠玉
の本を紹介します

・絵本 ハーメルンの笛ふき

作/ブラウニング 絵/クラークソン E/Se/21

・阿部謹也著作集 第一巻 ハーメルンの笛吹き男 230/Ab/1

「ハーメルンの笛ふき」というおとぎ話を知っていますか。

昔、ドイツのハーメルンに大量のねずみが発生し、町はおびただしい被害を受けました。ふと現れたまだらの服を着た若者が、持っていた笛を吹いてネズミを操り町の外に連れ出したため、人々はやっと元の暮らしを取り戻すことができました。町の役人たちは若者に礼金をやるのが惜しくなり約束を反故にしました。おこった若者が笛を吹くと町中の子どもたちがその音色に誘われ若者について行ってしまい、町から子どもが一人もいなくなってしまう——というお話です。

最近、人気のテレビドラマのモチーフにもなったこの「ハーメルンの笛ふき」は、もちろん本学図書館の絵本で読むことができます。

今回紹介するもう一冊の本「阿部謹也著作集 第一巻」は「ハーメルンの笛ふき」を研究した本です。実は130人の子どもたちがハーメルンの町から突然姿を消したのは、1284年6月26日に実際に起こったことです。しかしその原因はわかっていません。子ども十字軍への勧誘、ペスト流行による大量死、植民のための人集めなど様々な説があります。歴史学者である阿部は現地を歩き、資料を読み、この事件をたんねんに調べました。子どもたちはなぜ姿を消したのか、ハーメルンの笛ふきは本当に存在したのか。

読書の楽しみの一つに“次に読む本を見つける”というのがあります。一冊の本を読み、そこから導かれるようにして次の本に巡り会えた時は快感に包まれます。

どうぞ図書館でそんな体験をしてください。

らいぶ Question



節分に豆をまくわけ

365 日ものしり百科 386.1/Ma/2 より

煎った大豆には邪気をはらう力があるとされ、豆をまいたあとで自分の(①)の数だけ食べると、病気をしないとわれています。また、焼いたイワシの頭と(②)などを魔除けとして戸口にさす風習もあります。鬼は鬼門という(③)の方角から来ると考えられていました。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。
全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

開館カレンダー 2017 年

2 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



9:00~17:00



9:00~16:00



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

